

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(男性, 80歳代)あります。型別はO157(VT2)です。本年の累積報告数は20例となっています。詳細は下記ホームページをご覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- 梅毒の報告が1例(女性, 80歳代)あります。本年の累積報告数は10例となっており、過去5年間の年間報告数で最も多かった平成24年, 平成25年のそれぞれ8例を上回っています。
- 咽頭結膜熱の定点当たり報告数が1.20(49例)で、本年で最も多い報告数となっています。今後の動向にご注意ください。

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成26年4月から6月末までの報告数は、AIDS患者1例, HIV感染者3例の計4例です。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 2例(第34週追加分含む)【1月以降の累積報告数 20例】
- 五類: 梅毒(晩期顕症) 1例【1月以降の累積報告数 10例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

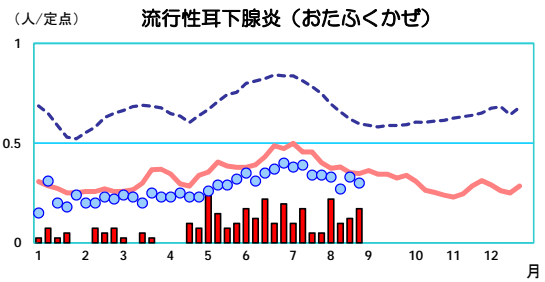
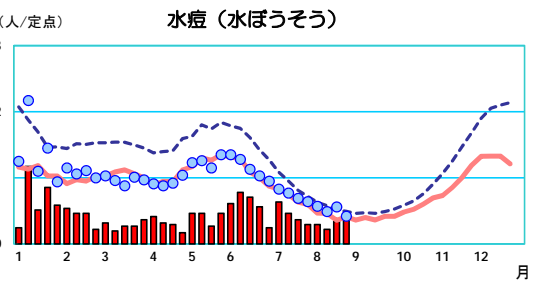
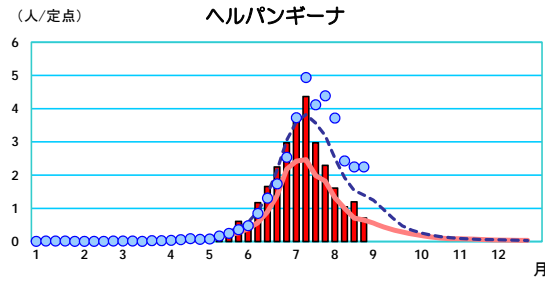
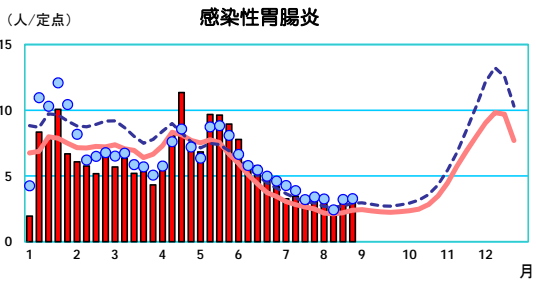
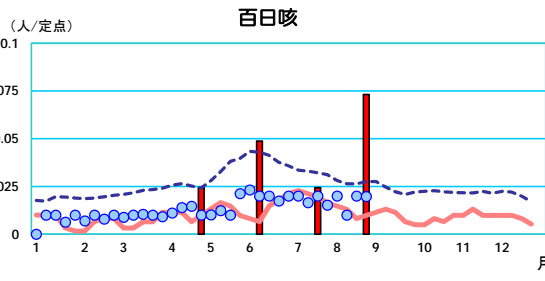
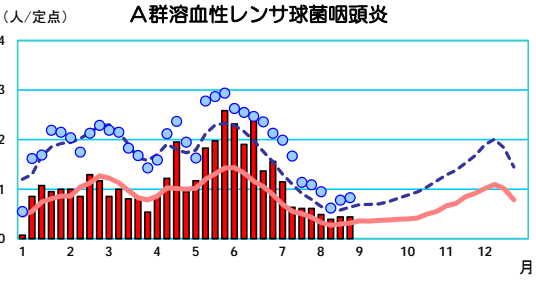
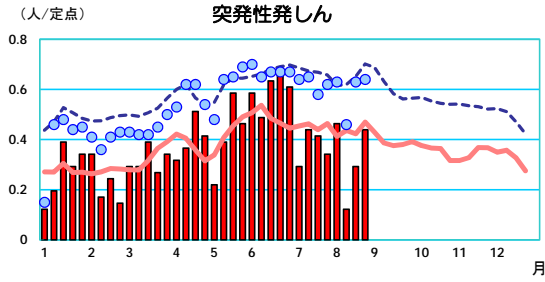
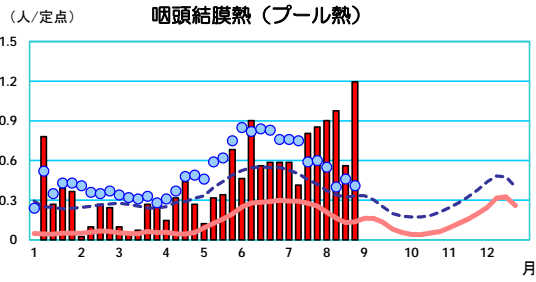
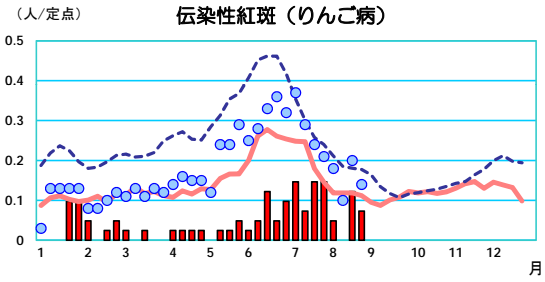
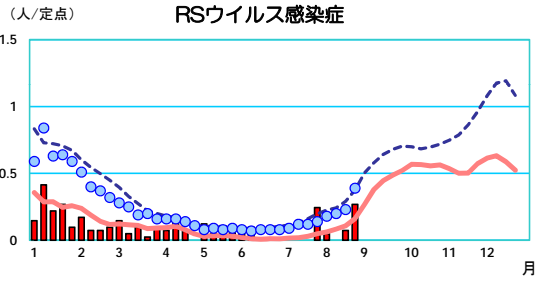
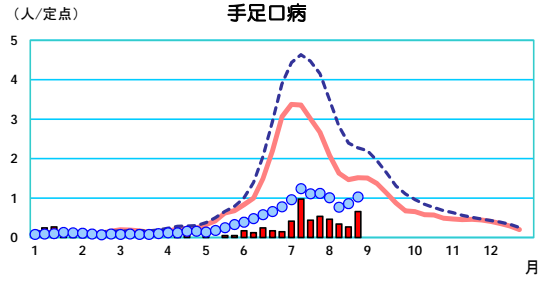
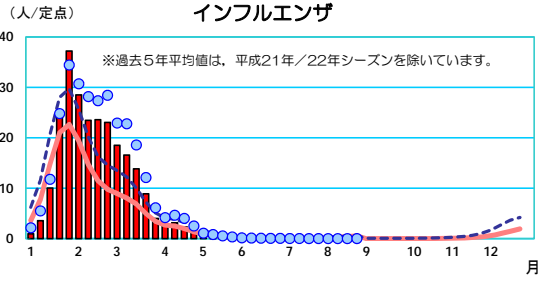
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	3.32	136
	② 咽頭結膜熱	1.20	49
	③ ヘルパンギーナ	0.71	29
	④ 手足口病	0.66	27
	⑤ 水痘	0.46	19
眼科	流行性角結膜炎	1.30	13

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

(注) 京都市のデータは、平成26年9月4日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



第35週(8月25日～8月31日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

平成26年4月から6月末までの報告数は、AIDS患者* 1例、HIV感染者** 3例の計4例です。年齢は20歳代 2例、40歳代 1例、50歳代 1例で、すべて男性です。推定感染経路はすべて同性間性的接触で、推定感染地域は国内となっています。

平成12年以降の累積報告数は218例(AIDS患者 71例、HIV感染者 147例)となり、新規AIDS患者報告数が32.6%を占めています。推定感染経路では、性行為感染が173例で、このうち同性間の性行為感染が98例と最も多く、全体の45.0%を占めています。

HIV感染症は、適切な治療によりAIDSの発症を抑えることができることから、AIDSを発症する前にHIV感染を早期発見することが重要となります。また、早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用してください。

* AIDS患者 :AIDSと診断されて発症が届けられたもの。(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

**HIV感染者 :HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの。

詳細は、下記ホームページをご参照ください。

○京都市のエイズ対策について

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000089734.html>

年次別報告数の推移

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
平成12年	6	3	3	5	1
平成13年	6	2	4	6	0
平成14年	9	4	5	8	1
平成15年	11	2	9	11	0
平成16年	21	2	19	18	3
平成17年	9	3	6	9	0
平成18年	25	8	17	23	2
平成19年	22	7	15	19	3
平成20年	21	6	15	18	3
平成21年	22	10	12	22	0
平成22年	17	6	11	17	0
平成23年	15	5	10	15	0
平成24年	9	4	5	8	1
平成25年	19	7	12	18	1
平成26年(1～6月)	6	2	4	5	1
総計	218	71	147	202	16

推定感染経路別 年次別報告数の推移

